

セミナー「医療技術に倫理的評価は必要か？」

先端医療技術の導入にあたって、法的倫理的社会的課題（ELSI）の検討が必要とされることがあります。それはどのような技術について行われるべきなのでしょう。ある医療技術を受け入れるかどうかは、市場が決定すればよいのであり、あらかじめ国や社会の一部の機関が決定すべきではないと考えることもできます。その技術を利用したり、関係をもたない人が倫理を持ち出すことで、技術利用を切望する人から技術を遠ざける可能性もあります。

医療技術に倫理的評価は必要か、必要とすればどのような対象に行われ、あるいは行われるべきではない、その必要がない技術も存在するのでしょうか。ディスカッションを行うセミナーを開催します。

日時：10月7日（木）16:00～17:00

場所：星稜キャンパス医学部5号館201室

演者：

吉澤剛： 東京大学公共政策大学院 I2TA プロジェクト特任講師。専門は、科学技術政策、知識政策。

畑中綾子： 東京大学公共政策大学院 I2TA プロジェクト特任研究員。専門は、民法・医事法。

プログラム：

- ・「先進技術の社会影響評価（テクノロジーアセスメント）手法の開発と社会への定着」（I2TA）プロジェクトの紹介（吉澤、5分）
- ・先端医療技術における ELSI の検討や医療 TA の現状（畑中、20分）
- ・質疑応答・ディスカッション（35分）

参考： I2TA プロジェクト (<http://i2ta.org/>)

世話人： 長神風二（東北大学脳科学グローバル COE 特任准教授

f-nagami[at]med.tohoku.ac.jp

内線：7908)